

令和 7（2025）年度

東京大学大学院経済学研究科博士課程学生募集要項（社会人特別選抜） 補足説明書

本説明書は令和 7（2025）年度東京大学大学院経済学研究科博士課程学生募集要項（社会人特別選抜）を補足するものである。提出書類の作成及び受験に当たり必ず参照すること。

なお、本説明書には研究科全体に関わる記載も含まれるが、本募集要項による募集は、経済専攻経済学コース、統計学コース、地域研究コース、経済史コース及びマネジメント専攻数量ファイナンスコースのみであり、出願にあたっては留意すること。

1. 本研究科の専攻の編成と概要

本研究科には、経済、マネジメントの二つの専攻が設けられている。経済専攻は、(1) 経済学、(2) 統計学、(3) 地域研究、(4) 経済史の四つのコースが設けられており、(1) は経済学の研究を、(2) は統計学の研究を、(3) は地域研究を、(4) は経済史の研究をそれぞれ主な目的とするコースである。マネジメント専攻は、(1) 経営学、(2) 数量ファイナンスの二つのコースが設けられており、(1) は企業及び市場組織の分析並びに会計の研究を、(2) は金融及びファイナンス理論の研究をそれぞれ主な目的とするコースである。各コースの授業科目は〔参考 1〕、教員名簿は〔参考 2〕のとおりである。

2. 成績証明書及び修了（見込）証明書について

出身（在学）大学が発行したもの（コピーは不可）であり、修士課程（博士前期課程）の成績及び修了（見込）を証明するものを提出すること。日本語又は英語以外の言語を使用している場合は、原本及びその日本語訳を提出すること。（大学を退学して別の大学に入学し、修了（見込）した場合、退学をした大学分の成績証明書も必要である）

修了証明書が原本しかなく、提出用の証明書が発行できない場合は、確認の後、返却するので、返信用の封筒と切手を同封し原本を郵送すること。

外国の大学を修了した場合（修了見込み含む）は、取得学位が記載された修了（見込）証明書を提出すること。

3. 研究計画書について

- ① 研究計画書では、研究の背景や問題意識、具体的な研究テーマ等について説明すること。現在の職務内容から導かれる問題、関心などを書いてよい。
- ② 使用言語は、日本語又は英語とする。
- ③ A4 判の用紙を使用し、今後の研究テーマ、研究目的及び研究方法について、日本語の場合は 2,000 字程度、英語の場合はダブルスペースで 2 枚以内にまとめること。
- ④ 募集要項掲載の作成見本を参照のうえ、最初のページの冒頭に、「研究計画書」と明記し、氏名、志望コース、研究テーマ、志望指導教員名を記載すること。
- ⑤ 用紙の左上を 1 部ずつホチキスで留めること。
- ⑥ 同一の研究計画書を 3 部提出すること。

4. TOEFL 及び TOEIC のスコアについて

TOEFL 又は TOEIC のスコアのいずれかを提出する。

「TOEFL のスコア」を提出する場合

- (1) 2022 年 11 月 1 日から 2024 年 9 月 20 日までに受験した TOEFL (iBT、iBT Home Edition。なお、受験地は問わない。所属団体等で実施する ITP は認めない。) を受験し、ETS に東京大学大学院経済学研究科宛に Institutional (Official) Score Report を送信するよう請求すること。Test Taker Score Report の提出は不要。

※ 本研究科の TOEFL の Institution Code No. : 7101 (Department Code: 99)

- (2) 出願時に願書へ Appointment Number、受験日を記入すること。
- (3) Institutional (Official) Score Report を複数回送信することは可能だが、その場合もスコアを 1 つだけ決めて、願書へ Appointment Number、受験日を記入すること。
- (4) 障害や健康上の理由により、TOEFL を受験する上で特別な配慮を必要とする場合は、予め本人から ETS の特別配慮を申請したうえで TOEFL を受験してから、出願受付期間内にスコアシート及び特別配慮が受理されたことがわかるメール等をプリントしたものを提出すること。申請・受験にかなりの時間を要することがあるので、時間に余裕をもって準備すること。

「TOEIC のスコア」を提出する場合

出願時に 2022 年 11 月 1 日から 2024 年 9 月 10 日までに日本国内で受験した TOEIC Listening & Reading Test の以下①もしくは②のいずれかを提出すること。ただし、団体特別受験制 (IP : Institutional Program) の Score Report (個人成績表) は認めない。

- ① 2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに受験した場合 : 公式認定証 (Official Score Certificate) の原本を提出する。コピーは不可。

出願受付期間内に公式認定証を提出できない場合は、願書は受理しない。

- ② 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 9 月 10 日までに受験した場合 : デジタル公式認定証の PDF をダウンロードし、印刷したものを提出すること。スコア確認用 QR コードが付されているものに限る。有効試験期間内に受験したが、ETS 側の問題によりスコア開示が出願に間に合わない場合には、
9. その他⑤に連絡すること。

障害や健康上の理由により、TOEIC を受験する上で特別な配慮を必要とする場合は、予め本人から TOEIC のプライオリティサポートを申請したうえで TOEIC を受験してから、出願受付期間内に公式認定証及び特別配慮が受理されたことがわかるメール等をプリントしたものを提出すること。申請・受験にかなりの時間を要することがあるので、時間に余裕をもって準備すること。

5. 修士の学位論文又はこれに代わるものについて

以下の点に留意すること。提出する論文の使用言語は、日本語又は英語とする。

- ① 形態 : 一部ずつファイルに綴じ、論文タイトルを付ける。適宜、小見出しを付ける。
なお、綴じるファイルの種類は問わないが、クリップ等は避け、はずれないようしっかりと綴じること。
- ② 日本語で作成する場合 : A4 判の用紙を使用。
- ③ 英語で作成する場合 : A4 判の用紙を使用。ダブルスペース。
- ④ 提出部数 : 1 つの論文につき 3 部提出すること (「写し」で差し支えない)。

- ⑤ 表紙に論文題目・氏名・志望コースを明記すること。

6. 参考業績について

- (1) 参考業績として、未発表のものも含めた、著書、論文、調査・報告書、学会報告等を提出することができる。
- (2) 日本語又は英語以外の外国語で記述された参考業績については、日本語（A4判の用紙で800字以内）又は英語（A4判の用紙でダブルスペース1枚以内）の要約を添付して提出すること。
- (3) 参考業績を提出する場合は、参考業績のタイトル、発表時期、既発表・未発表の別等を発表時期の順に記載した「参考業績リスト（ホームページ掲載の作成見本参照）」を作成し、氏名を記載して、参考業績と併せて提出すること。なお、共同業績の場合は、志願者の貢献部分を明記すること。
- (4) 各参考業績の表紙にそれぞれ氏名を記入すること。
- (5) 参考業績は、「写し」で差し支えない。

7. 推薦書について

推薦書は、統計学コースは1通必須、2通目任意とする。

経済学コース、地域研究コース、経済史コース及び数量ファイナンスコースは提出することが望ましいが、その提出は任意とする。募集要項掲載の作成見本を参照のうえ作成してもらうこと。

8. 長期履修学生制度について

「長期履修学生制度」とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限内では大学院の教育課程の履修が困難であると認められる者に限り、標準修業年限を超えて計画的な履修を立てることができる制度である。

博士課程においては、標準修業年限3年を、4年、5年又は6年として、計画的に履修することができる。

この制度では、標準修業年限の授業料の総額を長期履修期間として認められた年数で支払うことになる。例えば、博士課程において4年間の長期履修が認められた場合、3年分の授業料の総額を4年で除した額が授業料の年額となる。

なお、この制度を利用するには、入学手続き時に申請が必要である。

9. その他

① 海外居住者の出願方法について

出願時において、海外に居住している者であっても、返信用封筒には日本国内の住所を記入すること。指示を守らずに郵送した場合は受理しない。

② 官公庁、企業、団体等に在職のまま大学院に入学する者は、定められたカリキュラムに従って学業に従事できるよう、勤務先から「大学院に入学すること」の承諾を得ること。ただし、「承諾書」の提出は必要ない。なお、長期履修制度を活用する等、柔軟な運用がされており、仕事を続けながら履修することは十分に可能である。

③ 留学生の場合、ビザの関係上、入学手続きの際に、「大学院に入学すること」の勤務先の長の承諾書の提出を求めることがある。また、留学生でなくても、本人の希望により、上記承諾書を提出してもよい。

④ 口述試験受験資格者の発表は、経済学研究科棟1階特設掲示を正式とするが、本研究科HPでも掲示す

る。詳細については出願者に連絡する。

- ⑤ その他出願に際して不明な点等があれば、教務チーム大学院担当に問い合わせること。

問い合わせ先 東京大学大学院経済学研究科事務部教務チーム大学院担当

E-mail : gradinfo@e.u-tokyo.ac.jp

〔参考 1〕 令和 6 年度大学院経済学研究科博士課程授業科目表

〔参考 2〕 東京大学大学院経済学研究科コース別教員名簿

〔参考 3〕 出願者の合格状況（過去 2 年間）

令和6年度

大学院経済学研究科コース別授業科目

経済専攻		マネジメント専攻	
経 済 学	統 計 学	経 営 学	数量ファイナンス
メカニズムデザイン	経済統計	経営管理研究	上級デリバティブⅠ
ミクロ経済学特論	経営統計	経営戦略研究	上級デリバティブⅡ
マクロ経済学特論	数理統計特論	雇用システム研究	実証ファイナンス
数理経済学	計量経済特論	雇用労働研究	数量ファイナンスⅠ
ミクロ経済学ワークショップⅠ	統計学輪講	フード・システム研究	上級デリバティブ演習Ⅰ
ミクロ経済学ワークショップⅡ	統計学演習	生産システム研究	数量ファイナンスⅡ
マクロ経済学ワークショップⅠ	論文指導（博士）	経営史研究	上級デリバティブ演習Ⅱ
マクロ経済学ワークショップⅡ		国際経営研究	保険数理Ⅰ
理論経済学特論	地域研究	マーケティング研究	保険数理Ⅱ
経済理論演習	経済学史	技術経営研究	保険数理Ⅲ
金融政策	社会・経済思想	管理会計研究	インベストメント
金融システム論	経済原論特論	財務会計研究	経営財務Ⅱ
現代財政Ⅰ	経済学方法論特論	経営組織研究	企業会計
現代財政Ⅱ	アジア経済	経営学ワークショップⅠ	数量ファイナンスとデリバティブ
財政理論	中国経済	経営学ワークショップⅡ	財務会計Ⅱ
公共経済	経済発展	財務・会計ワークショップⅠ	管理会計Ⅱ
開発経済	国際経済特論	財務・会計ワークショップⅡ	コーポレート・ガバナンス
国際貿易	現代経済演習	社内イノベーターワークショップ	資産流動化と不動産ファイナンス
国際金融	論文指導（博士）	経営学特論	企業財務戦略
産業経済		会計学特論	金融機関のリスク管理
労働経済	経済史	社内イノベーター特論	会計学演習
都市経済	近代欧米経済史	経営学演習	会計学特論
ビジネスエコノミクス	現代欧米経済史	会計学演習	管理会計研究
応用計量経済	近代日本経済史	社内イノベーター演習	財務会計研究
現代金融特論	現代日本経済史	論文指導（博士）	財務・会計ワークショップⅠ
現代財政特論	欧米経済史文献・資料研究		財務・会計ワークショップⅡ
国際経済特論	アジア経済史文献・資料研究		アクチュアリーワークショップⅠ
産業経済特論	日本経済史文献・資料研究		アクチュアリーワークショップⅡ
労働経済特論	比較経済史特論		ファイナンスのための確率Ⅰ
現代日本経済特論	経済政策史特論		ファイナンスのための確率Ⅱ
経済学演習	産業史特論		数量ファイナンス特論
論文指導（博士）	経済思想史特論		論文指導（博士）
	経済史演習		
	論文指導（博士）		

東京大学大学院経済学研究科専攻別教員名簿

(令和6年8月)

経済専攻				
経済学コース			統計学コース	
氏名	所属		氏名	所属
青木 浩介	経	済	大森 裕浩	経 済
神取 道宏	〃		奥井 亮	〃
小島 武仁	〃		久保川達也	〃
中嶋 智之	〃		下津 克己	〃
松島 齊	〃		倉田 博史	総 合
渡辺 努	〃		入江 薫	経 済
萱場 豊	〃		今泉 允聡	総 合
野田 俊也	〃		栗栖 大輔	空 間
飯塚 敏晃	〃		明石 郁哉	経 済
岩本 康志	〃		地域研究コース	
植田 健一	〃		氏名	所属
※大橋 弘	〃		※野原 慎司	経 済
※小川 光	〃		丸川 知雄	社 研
尾山 大輔	〃		青山 和佳	東文研
川合 慶	〃		伊藤 亜聖	社 研
川口 大司	〃		経済史コース	
佐藤 泰裕	〃		氏名	所属
澤田 康幸	〃		石原 俊時	経 済
新谷 元嗣	〃		岡崎 哲二	〃
高崎 善人	〃		城山 智子	〃
※楡井 誠	〃		谷本 雅之	〃
林 正義	〃		中林 真幸	社 研
肥後 雅博	〃		中村 尚史	〃
福田 慎一	〃		今泉 飛鳥	経 済
古澤 泰治	〃		小島 庸平	〃
星 岳雄	〃		森本 真世	社 研
※松井 彰彦	〃		佐々木 優	経 済
柳川 範之	〃			
山口慎太郎	〃			
渡邊 安虎	〃			
CHEN Stacey	公 共			
石原 章史	社 研			
加藤 晋	〃			
近藤 絢子	〃			
佐々木 弾	〃			
庄司 匡宏	〃			
田中 隆一	〃			
松村 敏弘	〃			
高橋 孝明	空 間			
杉山 正和	先 端			
GRIFFEN, Andrew	経 済			
田中 万理	〃			
仲田 泰祐	〃			
岡地 迪尚	総 合			
WEESE, Eric	社 研			
川田 恵介	〃			
坂口 翔政	経 済			
SON, Suk Joon	〃			
高木 悠貴	〃			
LOU, Yichuan	〃			
KUCHERYAVYY, Konstantin	公 共			
大津 優貴	空 間			

マネジメント専攻				
経営学コース			数量ファイナンスコース	
氏名	所属		氏名	所属
阿部 誠	経	済	高橋 明彦	経 済
大日方 隆	〃		佐藤 整尚	〃
粕谷 誠	〃		白谷健一郎	〃
藤岡 里圭	〃		藤井 優成	〃
米山 正樹	〃			
清水 剛	総 合			
※稲水 伸行	経 済			
大木 清弘	〃			
桑嶋 健一	〃			
※首藤 昭信	〃			
山本 浩司	〃			
舟津 昌平	〃			
元木 康介	経 済			
玄田 有史	社 研			

※令和6年度サバティカル教員

小川 光	令和5年10月～令和6年 9月
大橋 弘	令和5年10月～令和6年 9月
首藤 昭信	令和5年10月～令和6年 9月
野原 慎司	令和6年 4月～令和7年 3月
松井 彰彦	令和6年10月～令和7年 9月
楡井 誠	令和6年10月～令和7年 9月
稲水 伸行	令和6年10月～令和7年 9月

- 経 済：経済学研究科
- 公 共：公共政策学教育部
- 社 研：社会科学研究所
- 東文研：東洋文化研究所
- 総 合：総合文化研究科
- 工 学：工学系研究科
- 空 間：空間情報科学研究センター
- 先 端：先端科学技術研究センター

〔参考3〕

出願者の合格状況（過去2年間）

（単位：人）

コース		令和6年度 (令和5年度実施)	令和5年度 (令和4年度実施)
経済学	出願者	2	7
	合格者	2	0
統計学	出願者	1	0
	合格者	0	0
地域研究	出願者	1	0
	合格者	0	0
経済史	出願者	0	1
	合格者	0	0
数量ファイナンス	出願者	3	2
	合格者	1	1
計	出願者	7	10
	合格者	3	1